

8月に入って時折スコールのような雨が降り所々で水があふれますが、昨年のようなダカールの街全体が機能停止に陥ってしまうような大洪水は起こっておらず、排水対策で一定の進歩があったのかなと感じます。それとも昨年の雨が例外だったということでしょうか。

暑い日が続きますが皆様如何お過ごしでしょうか。

8月はバカンス時期ということもあり、あまり大きな外交行事は無いのですが、若者の人材育成に関係するいくつかの事業を視察しました。

9日には、CESAG（アフリカ高等経営学センター）で行われている日本語授業を視察しました。以前にも報告しましたが、大使館としては日本へのセネガル人受け入れを促進したいと考えており、その施策の一環としてセネガルにおける日本語教育の強化を目指しています。本年10月からはCESAGにおいて本格的な日本語コースが立ち上がりますので、多くのセネガル人の学生達に受講してもらいたいと考えています。日本語教育が軌道にのった暁には来年のどこかで日本語のスピーチコンテストを開きたいと思います。

また、18日には、CFPT（日セネガル職業訓練センター）に対する機材供与式があり、式典に参加してきました。CFPTは優秀なエンジニアを育成するためのセネガルの職業訓練・人材育成のための中核的存在であり、日本の経済協力の成功例です。ここを卒業した生徒は優秀なエンジニアとしてセネガルの発展を支えてきたのですが、生徒の中に日本に関心がある方がいれば、将来是非日本に来てもらいたいと考えています。

更に、25日には、セネガル空手連盟への協力として建設をした空手道場の落成式に出席しました。2026年のユースオリンピックを考えると、スポーツ分野での人材の交流や協力もこれからますます重要になると考えています。

先般、ニジェールでクーデターが起こったと思ったら、先日、今度はガボンでクーデターが起きました。サブサハラ地域では、ギニア、マリ、ブルキナファソでクーデターが起きて、ニジェールから東でも、スーダン、エチオピア、ソマリア等、不安定な国が並び、地図を見るとアフリカを横切るように不安定な地域がベルトのように生まれつつある印象を受けます。これがアフリカの将来にどのような影響をもたらすことになるのか心配なのですが、この地域が不安定になる程、セネガルの安定が際だって見えるのも事実だと思います。

そのセネガルでも、本年前半は野党のソンコ党首の裁判やサル大統領の3選を巡る動きで国内が多少混乱しましたが、今は少し落ち着きました。他方で、この所感を書いている9月1日現在、未だ与党は自らの大統領候補を絞り切れておらず、野党も分裂しており、来年の大統領選挙に向けての情勢は不透明です。こうしたもやもやした雰囲気はいつまで続くのか分かりませんが、大統領選挙を巡って大きな衝突や混乱が起こることの無いようにと祈っています。

最後に、下記にも注意喚起をさせて頂きましたが、最近、散発的ですが邦人、特に女性の方に対するバイクを使った引ったくり事件が起きています。幸い負傷者が出ていませんし、未遂で終わったケースもあり、あまり皆様の不安をあおるつもりはありませんが、昨年と比較して数が増えていることは事実ですので外出される時は気をつけて頂きたいと思います。大使館も警察等の関係当局にこうした事実を伝えて、注意喚起をするつもりです。

今週末はマガルです。本使は5日にセネガル政府の招待でトゥーバを訪問し、マガルをお祝いしてきます。